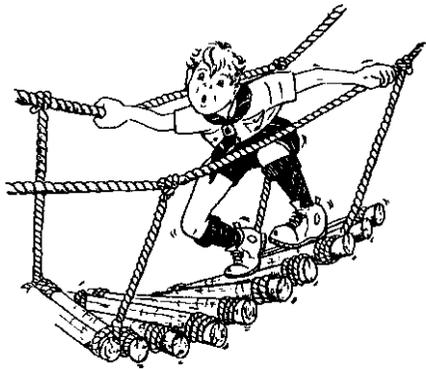


カブスカウト隊のしおり

改訂第4版



Baden Powell & Gilwell



ボーイスカウト船橋第3団
カブスカウト隊

アンノウン スカウト物語

1909年の秋のことでした。イギリスの都、ロンドンは、この日も一日中濃い霧につつまれていました。

アメリカのイリノイ州シカゴからロンドンにきた出版業のウィリアム・ボイス氏は、道がわからなくて、こまりはてていました。そのとき霧の中からひとりの少年が近づいてきました。「何かお役に立つことがありますか。」と少年はいいました。事務所がわからなくて困っていることがわかると、少年は先にたって、その事務所までボイス氏を案内しました。

ボイス氏は、アメリカ人の習慣で、少年にチップをあげようと、ポケットに手を入れました。しかしボイス氏がチップを取り出す前に、少年は勢いよく右手を上げて敬礼をしました。「ぼくはボーイスカウトです。きょうも何かよいことをするつもりでいました。お役にたててうれしいと思います。スカウトは、他の人を助けることでお礼はもらいません。」と少年はいいました。

少年からボーイスカウトのことを聞いたボイス氏は、用事をすませてから、少年にボーイスカウトの本部を案内してもらいました。ボイス氏が少年の名前を聞く前に、少年は姿を消してしまいました。

イギリスの本部でボーイスカウトのことをくわしく調べたボイス氏は、アメリカへ帰って大統領のタフト氏などに話し、やがて、アメリカでボーイスカウト運動が始められたのです。

そのときの少年がだれだったのか、その後もわかりませんでした。しかし、名前もわからないこの少年の小さな善行が、アメリカのたくさんの少年に、ボーイスカウトを伝える元になったのです。

目次

- | | |
|------------------|------|
| 1. ボーイスカウト運動の始まり | … P1 |
| 2. ボーイスカウト運動の目的 | … P2 |
| 3. カブスカウト隊の構成 | … P3 |
| 4. 活動について | … P5 |
| 5. カブ隊のさだめと進歩精度 | … P7 |
| 6. 入隊までの流れ | … P8 |
| 7. 費用/持物について | … P9 |

1. ボーイスカウト運動の始まり

1907年、イギリス陸軍中将ロバート・ベーデン・パウエル卿（以下 B-P 卿）は、様々な地域、階層出身の 21 名の少年と共に、イギリス本島の南に浮かぶブラウンシー島で実験キャンプを行いました。

B-P 卿は、自身の陸軍での経験と実験キャンプでの実績を元に、翌年「スカウティング・フォア・ボーイズ」という本を出版しました。「スカウティング・フォア・ボーイズ」は、当時のイギリスの少年達のあいだでベストセラーとなりました。本を読んだ少年達は、自発的に「ボーイスカウト」を組織し、そこにリーダーとして大人を迎え入れました。

ボーイスカウト活動は、少年達の自発活動によって始まりました。

カブスカウト活動の始まり

イギリスの少年達が熱心に読んでいた「スカウティング・フォア・ボーイズ」は、現在の小学校高学年～中学生あたりの年代を対象として書かれた本でした。自然と小学校低学年の年代の子供達も、同じような活動をしたいと思うようになりました。

子供達は、自分たちも活動に参加させてくれるようにと、B-P 卿に手紙を書いたり、または直接頼みにいたりしたそうです。

カブスカウトもまた、子供達の自発活動によって始まったのです。

2. ボーイスカウト運動の目的

「スカウティング・フォア・ボーイズ」がベストセラーとなったのは、そこに少年達が大自然の中で楽しめる多くの事柄が書いてあったからです。少年達にとっては、「スカウティング・フォア・ボーイズ」に書いてあることを真似することは、楽しいゲームであったと言えます。しかし同時に、少年達は、「スカウティング・フォア・ボーイズ」の内容を体験することを通して、知らず知らずのうちに自立に向かって、たくさん大切なことを学んでいました。スカウティングは、少年達にとっては楽しいゲームですが、大人の側からみると、ゲームを通しての人間教育となっています。

ボーイスカウト運動の目的をひとことと言いますと、以下となります：

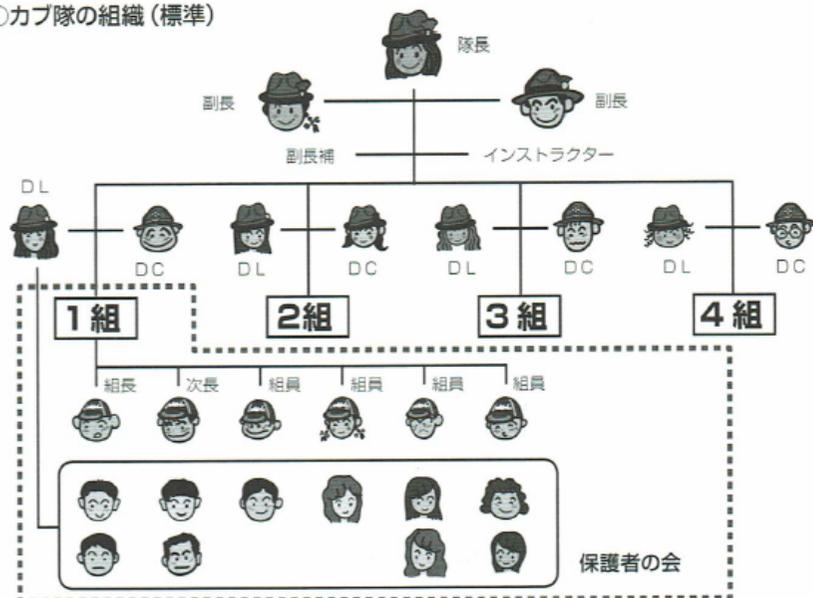
「よき社会人を育てること」

3. カブスカウト隊(カブ隊)の構成

3.1 カブ隊の組織

船橋第3団のカブ隊には現在「組」が5つあり、合計35名のスカウトが在籍しています（令和2年4月現在）。

○カブ隊の組織(標準)



3.2 スカウト

カブ隊では、以下の3学年のスカウトと一緒に活動します。

学年	ステップ
小学3年4月～翌3月	うさぎ
小学4年4月～翌3月	しか
小学5年4月～翌3月	くま

上記3学年のスカウト6名程度で、「組」を構成します。カブ隊では、年齢の異なるスカウトで構成された「組」が活動の基本単位となります。

3.3 隊リーダー

以下のリーダーがカブ隊を運営しています

役務	人数
隊長	1名
副長	7名
デン・リーダー(DL)	10名
DL サポーター	1名
団委員	1名
合計	20名

この他、ベンチャースカウト(VS)隊、およびボーイスカウト(BS)隊(デン・コーチ)のスカウトが、カブ隊活動の支援や自身のリーダーシップスキル向上を目的としてカブ隊の活動に参加することがあります。

デン・リーダー (DL)

カブ隊に在籍する3年間のうち、1年間は保護者の方にデン・リーダーを担当していただきます。

3.4 デン・リーダー(DL)

DLは組(デン)の保護者役であり、組の運営責任者です。

DLの主な仕事(リーダーハンドブック抜粋)：

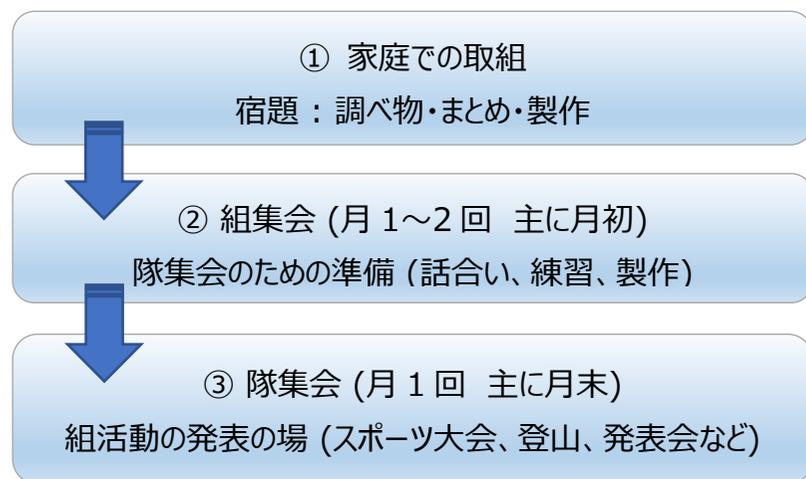
- ㊦ 月間プログラムから、組集会のプログラムを支援する
- ㊧ デン・コーチ(DC)が参加している場合、DCに出来るだけ活躍してもらうようにし、組長を活用する。
- ㊨ 集会の場所、飲食、安全についての注意をする。
- ㊩ 組の会計、出席、進歩の記録をつけ、隊リーダーに報告する。
- ㊪ カブスカウトが集会に喜んでくるように努力する。
- ㊫ リーダー集会に出席する

この他に、組集会計画書、報告書の作成・提出などをお願いしています。

4. 活動について

カブ隊の活動は、通常は 1 か月を単位として、1 か月ごとに活動テーマを設定し、そのテーマに基づいてプログラムを実施していきます。スカウト達は、自分達の興味や関心のあることを仲間と一緒にやるのが一番楽しいのです。カブスカウト活動では、その仲間が集まった「組」を基本の単位として「組集会」を行います。この中で中心的な役割を果たすのが組長です。ボーイスカウトでは、他のグループをよき「ライバル」と位置付け、互いに切磋琢磨し、また、協力し合う関係をつくり、それを活用した活動を行っています。このライバルグループとの競い合いを「対班競点」と呼び、カブの組同士の腕比べもまさにこれに相当します。これらの活動を通して社会性を身に付けていきます。

通常の活動の流れ



スカウト達は、隊集会に向けて組ごとに組集会を行います。組集会では、隊集会での発表の準備や練習をします。時には、テーマの理解を深めるために図書館に向かい、組のみんなで楽しく遊んだりもします。組集会の中で、スカウト達は自然と社会性を身に付けて行きます。また、組長、次長という役目になると、責任感を持つようになります。スカウトによっては、組長になってから急に素晴らしいリーダーシップを発揮したりもします。

組集会は、主に DL・DC が、スカウト達の面倒を見てくれますが、遊び盛りのスカウト達をまとめるのは大変です。是非、組のスカウトの保護者全員で組集会をサポートして、組を盛り立ててください。

一般的な組集会の流れ

1. 集合
原則として、集合/解散場所まで、送り迎えをお願いします。また可能であれば、保護者の皆さんも一緒に集会に参加して下さい。送迎することが出来ず、またスカウトが 1 人で移動する場合、事前に必ず DL に連絡して下さい。
2. 開会セレモニー
 - (1) 仲良しの輪
 - (2) 国旗儀礼
 - (3) ソング
 - (4) DL の話各組に 2 名、DL が付いています。組集会は、「組長」、「DC」、「DL」を中心に行われます。
3. ゲーム
4. プログラム
1 ヶ月に 1 つのテーマを設けて活動し、隊集会につながります。
5. 閉会セレモニー
 - (1) DL の話
 - (2) ソング
 - (3) 国旗儀礼
 - (4) 仲良しの輪
6. 解散

集会の連絡について

集会前には、組ごとに作成した連絡網で以下の連絡をします。

- ✓ 集会の日時
- ✓ 集会の場所
- ✓ 持ち物、その他

連絡は電話で、スカウト自身が行います。また、個人個人の集会の準備も、基本的にスカウト本人がします。慣れないうちは、傍で見ているとどかしいかも知れませんが、是非、一人でできるようにサポートをしてあげてください。間違えた伝言ゲームになっても構いません。メモを取り、確認する習慣を身に付けて欲しいので、スカウト自身に実施させて下さい。

(別途、保護者間で正確な情報を把握しておいて下さい)

スカウトが集会から帰ったら、「今日の集会、どうだった？」とお話して下さい。スカウト達は、きっとその日の集会での出来事を色々話してくれると思います。

5. カブ隊のさだめと進歩精度

5.1 修得課目

スカウト達の身体が日々成長しているように、人間的にも進歩向上することが必要です。進歩制度は、日常生活や活動の中でどんなことをやったら良いかという目標を、年齢に合わせ、具体的な項目として設定しています。

スカウト達が挑戦し、なし終えたとき保護者や指導者はそれを認定し、あわせて記章授与してその努力をたたえるのです。これがカブ隊の進歩制度です。



5.2 修得課目

修得課目は、各々の年齢の少年として、また少年が大人になった時に良き社会人として幸福な生活をするために、ぜひとも修得し身につけてもらいたいと思われることを、うさぎ、しか、くまのそれぞれの課程とも①信仰とたしなみ ②健康と安全 ③技能と野外活動 ④社会生活の4つに区分し、課目を設定しています

修得課目は①家庭あるいは集会で履修できるもの、②集会に参加することにより履修できるものの2つに区分されています。ご家庭で一緒に取り組み、10月までに修得(完修)することを目指して下さい。

履修区分	サイン	うさぎ	しか	くま
○ 家庭	保護者	11	11	11
○ 集会	隊長・他の指導者			
○ 集会	隊長・他の指導者	3	4	9
計		14	15	20

①家庭あるいは集会で履修できるもの	◎
②集会に参加することにより、履修できるもの	○

入隊式の中でカブブックをお渡しします。帰宅後、スカウトと一緒に項目を確認してあげて下さい。どの項目ができそうか？ 何が必要か？ どんなふうになればよいか？ 家庭でお話するだけで取組む姿勢が全く異なってきます。家庭で実践し、認めてあげることがとても大切です。

6. 入隊までの流れ

① 入団申込書の提出

入団申込書、個人調査書に必要事項を記入し提出してください。諸費用は、別途ご連絡いたします。

② 「りすの道」の履修

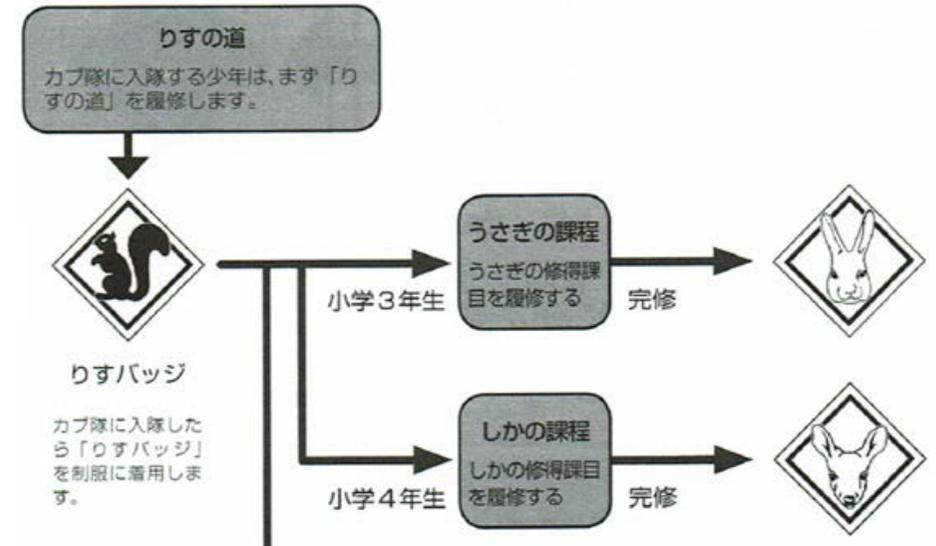
隊長から「りすの道」という冊子が渡されます。「りすの道」には、カブ隊で活動していく上での基本的事項（やくそくや敬礼の仕方など）が書かれています。ご家庭で、お子さんと一緒によく読んでください。一つ一つの項目ごとに、「できた」という時点で、保護者のサインを付けてあげてください。一通り終了した時点で、「りすの道」を隊長に提出してください。「りすの道」を終えないと、カブ隊へ正式に入隊できません。

③ 入隊式

「りすの道」を終了すると、いよいよ入隊式です。入隊するスカウトは、隊のスカウトの前で、大きな声で2つのやくそくをします。入隊式は、カブスカウト隊での活動の大事なスタートの儀式です。必ず保護者同伴で出るようにして下さい。

④ 入隊

2つのやくそくを元気に言うことができると、いよいよ正式な隊員となります。



7. 費用、持物について

入団時：

入団時に必要な費用は以下となります(令和2年4月現在)。
この費用は、原則スカウトの登録、活動に必要な費用です。

項目		1人目	2人目以降 (兄弟・姉妹)
登録費		¥5,700	¥5,700
育成会費	4月～6月入隊	¥15,000	¥10,000
	7月～9月入隊	¥12,000	¥8,000
	10月～12月入隊	¥9,000	¥6,000
	1月～3月入隊	¥5,000	¥4,000
入団金		¥10,000	¥10,000
隊費	半期に分けて徴収	¥1,000/月	¥1,000/月

毎年度：

以降、1年ごとに以下の費用がかかります

項目		1人目	2人目以降
登録費		¥5,700	¥5,700
育成会費		¥15,000	¥10,000
隊費(1か月¥1,000x12か月)		¥12,000	¥12,000

この他に、スキーキャンプ、夏・春キャンプ等の費用が別途かかります。

初年度登録のリーダー(DL、隊リーダー)の登録費(¥10,100)は、団が半額を負担します(¥5,050を負担して頂きます)。2年目以降のリーダー登録費については、半額を隊費から補助しています。

活動にあたって、用意するもの(金額は税込)

制服・制帽	キャップ(¥1,430) シャツ(長袖¥4,070 / 半袖¥3,300) 半ズボン(¥3,190) ハイソックス(¥825) ベルト(¥715)
ハバザック	¥3,565
結索練習用ロープ	カブ用(4m)¥471
カブスカウト歌集	¥550

上記物品はスカウト用品売り場で購入できます(令和2年4月現在)。

スカウト用品販売店： 千葉県 (株)そごう千葉店 (販売店)
〒260-0028 千葉市中央区新町 1000 ☎043-245-8371
オンラインショップ：

URL: <https://www.scoutshop.jp/view/category/cubs>

武器・食器	「武器」とは、スプーンやフォーク、箸のことを指します。食器は、手持ちのもので割れにくいものであれば、なんでも構いません。
カブTシャツ	夏場活動用のTシャツ(¥1,500前後)
軍手	綿のもの
水筒	水筒の中は水道水(首掛けタイプ)。キャンプ、ハイク時は合計で1L以上
雨具	ポンチョ(CS隊は傘をしません)